

教育大綱及び北九州市子どもの未来をひらく  
教育プランの推進状況について

令和4年12月23日  
北九州市教育委員会

# 教育大綱及び 北九州市子どもの未来をひらく教育プランの 推進状況



令和4年12月23日（金）  
北九州市教育委員会

©ていたん&ブラックていたん, 北九州市 1

## 教育大綱及び教育プランの策定状況

北九州市基本構想・基本計画（元気発進！北九州プラン）  
【H20.12策定（H25.12改訂）】

市長策定

「人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち」を目標に掲げ  
子育て・教育日本一を実感できる環境づくりに取り組む

北九州市教育大綱  
【H27.11策定】

市長策定

「子どもたちのシビックプライド醸成」  
を基本方針に掲げる

北九州市子どもの未来をひらく  
教育プラン【H21.11策定（H26.2改訂）】

教育委員会  
策定

「思いやりの心をもつ、自立した子どもを育む」を目標に、  
教育日本一を実感できる環境づくりに取り組む

北九州市教育大綱  
【R1.5策定】

市長策定

「SDGsの視点を踏まえたシビックプライド醸成」  
を基本方針に掲げる

第2期北九州市子どもの未来をひらく  
教育プラン【R1.8策定】

教育委員会  
策定

・教育大綱の理念であるSDGsの視点を踏まえた教育プラン  
・子どもたちの成長を促すとともに  
持続可能な社会づくりの担い手を育み、  
SDGsの幅広い目標への貢献につなげる



「元気発進！北九州プラン」の分野別計画として、  
「教育大綱」の方向性に沿った第2期教育プランを策定し教育施策を推進

# 教育大綱及び教育プランの策定状況

北九州市教育大綱  
【R1.5策定】

市長策定

## ◎北九州市の未来を担う子どもの姿

- ・本市に誇りをもつ子ども
- ・新たな価値創造に挑戦する子ども
- ・自立し、思いやりの心をもつ子ども

## ◎市全体で子どもの教育を支える5つの柱

新たな時代を切り拓く力の育成
本市が誇る文化芸術・スポーツ、歴史などの特性を活かした教育の推進
市民総ぐるみで子どもの教育を支える取組みの推進
一人一人に寄り添った「誰一人取り残さない」子どもへの支援
「働き方改革」の推進

第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン【R1.8策定】

教育委員会  
策定

## ◎ビジョン

自立し、思いやりの心をもつ子ども

新たな価値創造に挑戦する子ども

本市に誇りをもつ子ども

## ◎目標達成に向けた取組方針

学校・教職員と教育委員会は、互いにコミュニケーションを図り、目標を共有し、一体となって取組みを進める。



## ◎5つのミッション（使命）と12のアクション（施策）

ミッション（使命）	アクション（施策）
mission 1 時代を切り拓く力の育成	1 確かな学力の育成 2 健やかな体の育成 3 豊かな心の育成
mission 2 働きがいのある学校づくり	4 特別支援教育の推進 5 大量退職・採用時代における教員の資質向上 6 学校における業務改善の推進
mission 3 安心な学びの場づくり	7 長期欠席、いじめ等へのきめ細かな対応 8 児童生徒等の安全の確保
mission 4 市民総ぐるみでの支援	9 家庭・地域・学校の連携
mission 5 未来を見据えた環境整備	10 社会的・経済的な課題への対応 11 教育環境の整備 12 学校施設の整備

3

# 教育大綱及び教育プランの策定状況

## ◎第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プランの周知

### ①短編ムービー「3日間クラブ」の制作

「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」をPRする

短編ムービー「3日間クラブ」を制作

市立中学校演劇部員や教師が出演。SDGsをキーワードに学校で起こる不思議な体験を通して、互いに影響しあひながら、自ら未来をひらいていく姿を描いた作品



【ポスター】



【タウンミーティング】

### ②第2期教育プランの取組みを体現するプロジェクトの紹介

第2期教育プランに掲げた3つの「目指す子どもの姿」を体現する3校のプロジェクト動画を作成。

北九州市教育委員会YouTubeチャンネルでその取組みを紹介

【新たな価値創造に挑戦する子ども】

【自立し、思いやりの心をもつ子ども】

【本市に誇りを持つ子ども】



学校の決まりの見直しの取組み（板橋中学校）



防災・減災の取組み（木屋瀬小学校）



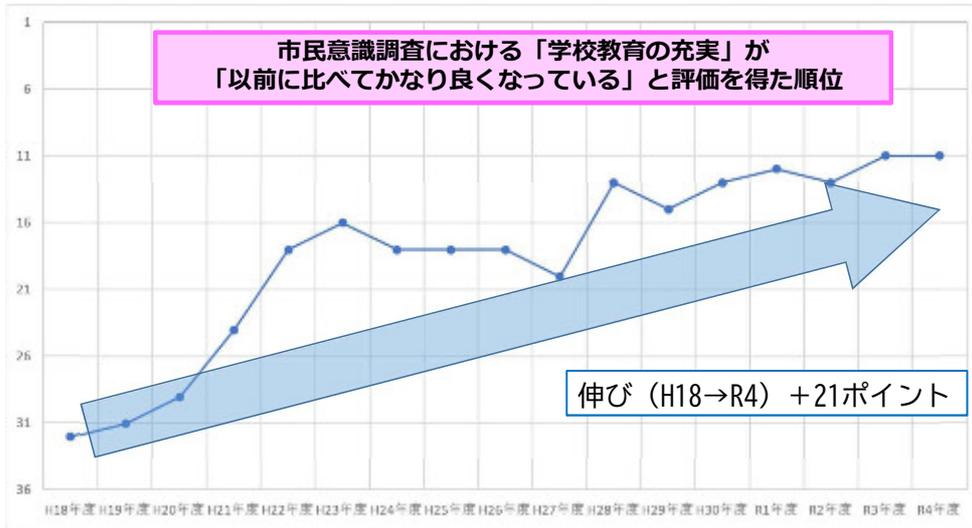
シビックプライド醸成の取組み（東谷中学校）

4

# 取組み内容と主な成果 ～教育に対する市民の評価～

## ◎市民意識調査の結果

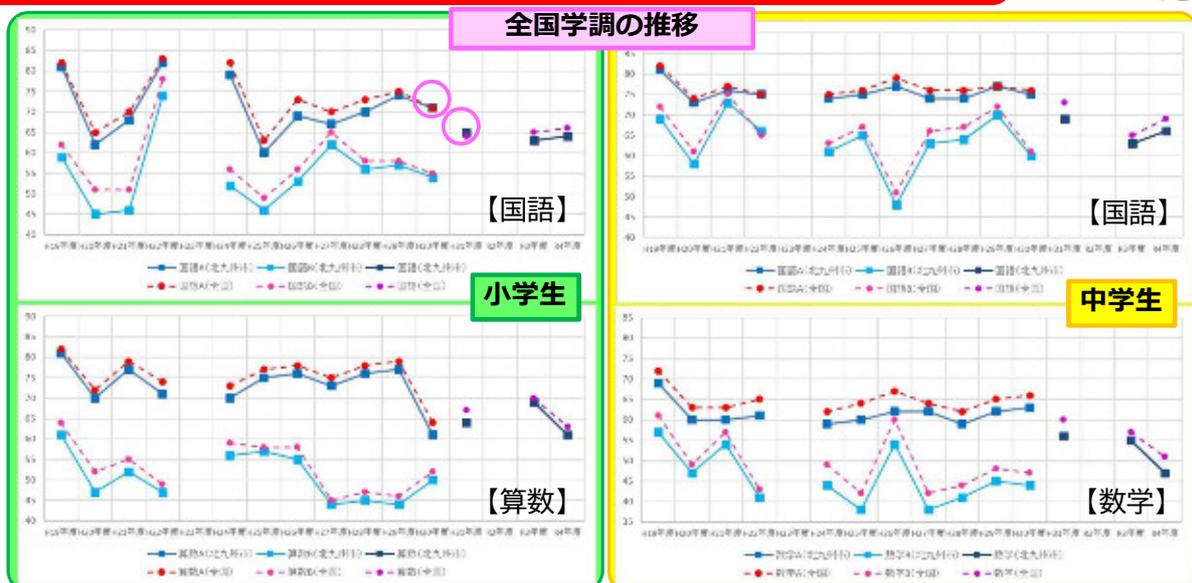
市政全般について、市民の意識と市民の行政施策に対する評価・要望等を把握するために実施する市民意識調査において、「学校教育の充実」が「以前に比べてかなり良くなっている」と評価を得た順位は平成18年度の**32位**（全36項目中）から、令和4年度は**11位**（全32項目中）まで上昇



# 取組み内容と主な成果 ～mission1 時代を切り拓く力の育成～

## ◎児童生徒の学力の推移

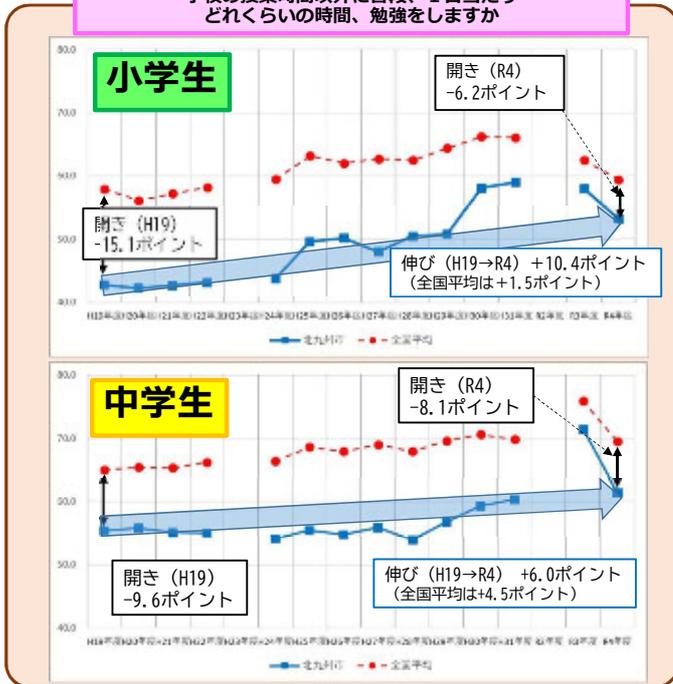
子どもの学力面での課題解決のため、平成28年度から令和2年度まで学力・体力向上推進室を設置し、学力並びに体力向上を目指す教育施策を推進  
 平成30年度は小学校国語A、平成31年度は小学校国語で全国平均正答率を超え、施策の成果が徐々に見られはじめる



## 取組み内容と主な成果 ~mission1 時代を切り拓く力の育成~

### ◎学校の授業時間以外に勉強する時間の推移

学校の授業時間以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



全国平均には達していないものの、平日に授業以外の学習を1時間以上行う児童生徒は、**小学校で約10ポイント**  
**中学校で約6ポイント増加**  
(R4年度とH19年度の比較)



- ・平成26年度より**家庭学習チャレンジハンドブック**を配布し、学校や家庭で家庭学習の意義などの理解を促進
- ・**子どもひまわり学習塾**を含めた学校内での補充学習を充実

#### 子どもひまわり学習塾とは

児童生徒に主体的な学習の仕方を身に付けさせ、学習習慣の定着を図るため、小学校3年生から6年生及び中学校3年生を対象に、放課後等に補充学習を行うもの



## 取組み内容と主な成果 ~mission1 時代を切り拓く力の育成~

### ◎体力の推移（「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果の推移）

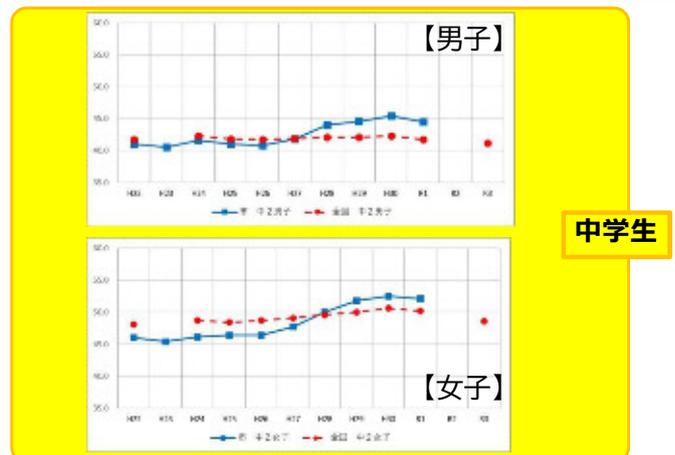
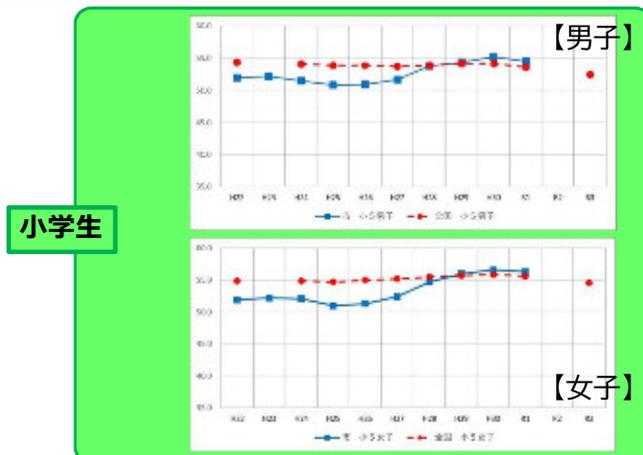
#### <体力向上プログラム>

楽しく力の付く授業や日常的に運動をする子どもの育成に努め、「体育『好きっちゃ』プログラム」を全小学校に配布

#### <教員の研修、授業力向上に向けた取組み>

- ・小・中合同研修会、体育授業パワーアッププラン（立命館大学と連携）研修等の実施
- ・小学校への体育専科教員の配置

握力や50m走など8項目を点数化した「体力合計点」の平均がH26年度ごろから上昇  
小学校でH29年度、中学校でH28年度から全国平均を上回る



## 取組み内容と主な成果 ~mission1 時代を切り拓く力の育成~

### ◎中学校完全給食の実施

平成21年度より取組み開始  
平成23年度には**中学校全62校**で**完全給食**実施



### ◎歯と口の健康づくり

むし歯のない割合政令市最下位を打開するため  
「学校における歯と口の健康づくり推進計画」を策定(令和4年3月)

取組みの一環として「フッ化物洗口」を開始

令和5年度には  
全小学校127校で実施予定



### ◎特別支援教室の導入

本市では、担当する教員が対象児童生徒の在籍校を巡回訪問し、通級による指導を実施

【小学校】

令和元年度 小倉北区で実施  
令和2年度 小倉北区、八幡西区で実施  
令和3年度 全市で実施

【中学校】

令和5年度 全市で実施(予定)

#### 本市方式のメリット

- 【他校への移動が不要】
- ・児童生徒の抜ける時間が最小限
- ・保護者の送迎の負担がない
- 【担当教員が巡回】
- ・在籍校担任と連絡が取りやすい



9

## 取組み内容と主な成果 ~mission2 働きがいのある学校づくり~

### ◎学校における業務改善

<本市における業務改善の目的>

- ①子どもと向き合う時間や、それに伴う指導準備時間の確保
- ②教職員のワーク・ライフ・バランスの充実、メンタルヘルス等の健康保持



#### 具体的な取組み

#### ①学校閉庁日の設定 (H29年度~)

教職員の休暇等の取得促進を目的に、  
夏季及び冬季長期休業期間中に  
「学校閉庁日」を設定

#### ②部活動休養日の設定 (H31年度~)

原則、週当たり2日以上  
の部活動休養日を設定。  
毎月第3水曜日は  
「全市一斉部活動休養日」



(学校閉庁日は、原則、部活動休養日)

#### ③定時退校日の設定 (H29年度~)

月2回以上の「定時退校日」を設定し、  
午後6時までに消灯・退校

#### ④教員業務支援員(スクールサポートスタッフ)の配置 (H30年度~)

学校だより等の印刷や配布物の仕分け、電話の取次ぎ、  
教材準備補助等を行うサポートスタッフを配置

【配置状況】

H30年度: 40校(40人) ⇒ R4年度: 162校(171人)

#### ⑤部活動指導員の配置 (H29年度~)

顧問教員に代わって、  
単独で部活動指導や  
引率等の業務を行う  
「部活動指導員」を配置

【配置状況】

H29年度: 15人 ⇒ R4年度: 25人



10

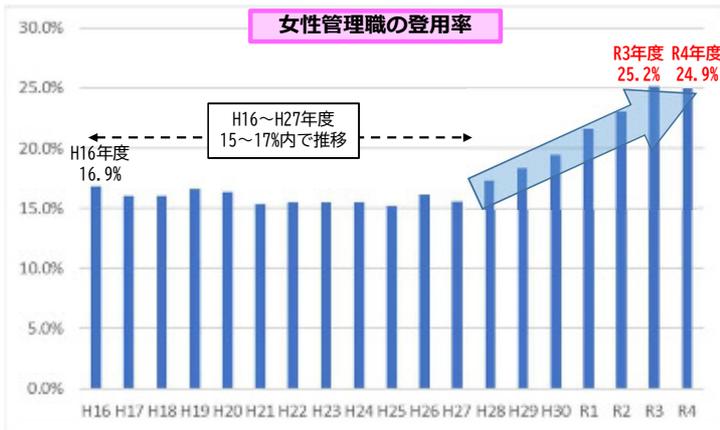
## 取組み内容と主な成果 ~mission2 働きがいのある学校づくり~

### ◎女性管理職の登用

教職員のうち6割が女性教職員である一方、女性管理職(校長・教頭)の割合は、平成16年度が16.9%と、女性教職員の割合と比較すると低い数値



- ・第2期教育プランで**女性の管理職登用率を目標(令和5年度に25%)に定める**
- ・全教職員が仕事への高い意欲を持ち、持てる能力を発揮して活躍できる職場づくりを行い、人と組織の成長を図ることを目的に「**北九州市教職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム**」を策定し、女性活躍の取組みを推進



### 具体的な取組み

- ①性別に関わらない人材育成の強化**
  - ・女性教職員を対象としたキャリア研修  
主に女性教職員のキャリアイメージ形成を支援するための「ワーク&ライフ・デザイン研修」を実施
- ②仕事と生活を両立できる職場環境づくり**
  - ・男性教職員の育児参画促進  
配偶者が出産予定の男性教職員を管理職が把握し、面談を通して子育て支援制度の周知と取得推進を図る
- ③働き方の見直しによる業務改善とワーク・ライフ・バランスの実現**
  - ・WLBの実践に向けた取組みの推進  
WLBへの理解を深め、行動へつなげるため、定時退校日や学校閉庁日等を通じてWLBの実践に向けた取組みの強化を図る
- ④働きがいのある組織風土の醸成**
  - ・教育委員会及び学校等の取組強化  
学校における女性教職員の活躍推進及びWLBの実現等に資する取組みについて、女性教職員と女性管理職及び教育委員会等の意見交換会を実施

11

## 取組み内容と主な成果 ~mission3 安心な学びの場づくり~

### ◎不登校児童生徒への対応

#### ①市民への啓発

不登校とは、どの子どもにも起こり得ることとして捉え、その行為を「問題行動」として判断せず、多様な学びの機会の保障や居場所づくりなどに努めているパンフレットを通じて本市の取組みを周知啓発



#### ②専門家による支援

##### ①「心の専門家」スクールカウンセラー (SC) の配置

臨床心理士などの資格を有するものが、SCとして学校で児童生徒や、保護者などとのカウンセリングを通じて、心のケアに努めている

平成16年度に全中学校63校(当時:現在は統合により62校)に配置  
平成19年度より小学校への派遣を開始  
**現在は小・中・特別支援・高等学校・高等専修学校(全200校)にも配置済み**



##### ②「福祉の専門家」スクールソーシャルワーカー (SSW) の配置 (H20年度~)

SSWは、社会福祉の知見を活用して、児童生徒を対象者として、不登校、非行、暴力行為、発達障害等の事象を「児童生徒の教育や生活、成長・発達が保障されていない状況」と捉え、学校と連携して状況改善のためのアプローチを行う

平成20年度に2名を配置  
平成30年度より全体の連携強化や資質向上を図るため、12名のうち2名を**リーダーとして配置**  
**令和4年11月現在、18名体制(うちリーダー2名)**各学校等への支援を実施

12

## 取組み内容と主な成果 ~mission3 安心な学びの場づくり~

### ◎不登校児童生徒への対応

#### ③「北九州市SNS悩み相談」窓口の設置（令和4年5月1日～）

市立の小・中・高・特別支援学校の児童生徒を対象に、チャットで学校や家の悩みを相談員に「相談」したり、学校に知らせたりすることができる。匿名での利用が可能。



**「相談する」**  
チャットでカウンセラーに相談ができるよ。

チャットで相談

・相談できる期間  
毎日19時～22時（受付は21:30まで）  
※毎週土曜日、2023年1月1日（日）～1月3日（火）を除く

**「学校に知らせる」**  
学校に伝えたいことを知らせることができるよ。

チャットで連絡

・学校に知らせることができる時間  
毎日24時間

#### ④未来へのとびらオンライン授業

欠席が長期継続している小学校5，6年生及び中学校1，2，3年生を対象に、

- ・規則正しい生活習慣への改善につなげる
- ・コミュニケーション能力の基礎を身に付ける
- ・学習への興味・関心をもつ

など、「社会的自立」を目的に、

授業力が優れた教員のチームが工夫したプログラムの授業を発信



【授業配信の様子】

#### 参加児童生徒の声

- ・授業の内容が面白くて楽しかった。
- ・今の生活習慣を続けていきたい。
- ・先生、みんなとの会話が楽しみだ。

⇒学習することや他者と関わることを楽しんでいる声

13

## 取組み内容と主な成果 ~mission3 安心な学びの場づくり~

### ◎不登校児童生徒への対応

#### ⑤教育支援室の設置

個別や小集団での活動が可能な小中学生を対象に「集団生活への適応」や「情緒の安定」、「基礎学力の補充」、「基本的な生活習慣の改善」を図ることで、不登校児童生徒の「社会的自立」や「自ら登校を希望した際の円滑な学校復帰」を目指す



項目	所管部局	条例上の位置づけ	通称名	支援内容
令和3年度まで	子ども家庭局 (子ども総合センター)	少年支援センター	少年支援室	福祉的な支援中心
令和4年度から	教育委員会 (生徒指導課)	教育支援センター	教育支援室	<b>教育的な支援をより充実</b>

#### ⑥オンライン支援室

欠席が長期継続している子どもの「社会的自立」や「自ら登校を希望した際の円滑な学校復帰」に資するよう支援するため、

不登校の状態が長期継続している中学生で、

- ・様々な理由により、「教育支援室」に通所したくても通所できない状態の者
  - ・学習支援や相談支援などに積極的に参加しようとする者
- を対象にオンラインでの支援を実施



【オンライン担任による支援の様子】

#### 参加生徒の変容

- ◎ チャットでの反応回数が増えたり、文章での表記が多くなったりしてきた
- ◎ カメラやマイクをオンにして担任等との会話や相談に参加する生徒が増えた



安心して参加している様子がある

14